

あわじ石の寝屋緑地 ゾーニング図等 抜粋

目次

1 環境影響評価書（平成 14 年）

(1) 環境類型区分図	1
(2) は虫類調査ルート図	2
(3) 両性類調査ルート図	3
(4) 昆虫類調査ルート図	4
(5) 水生小動物調査地点図	5
(6) 猛禽類調査地点図	6

2 県立都市公園リノベーション計画

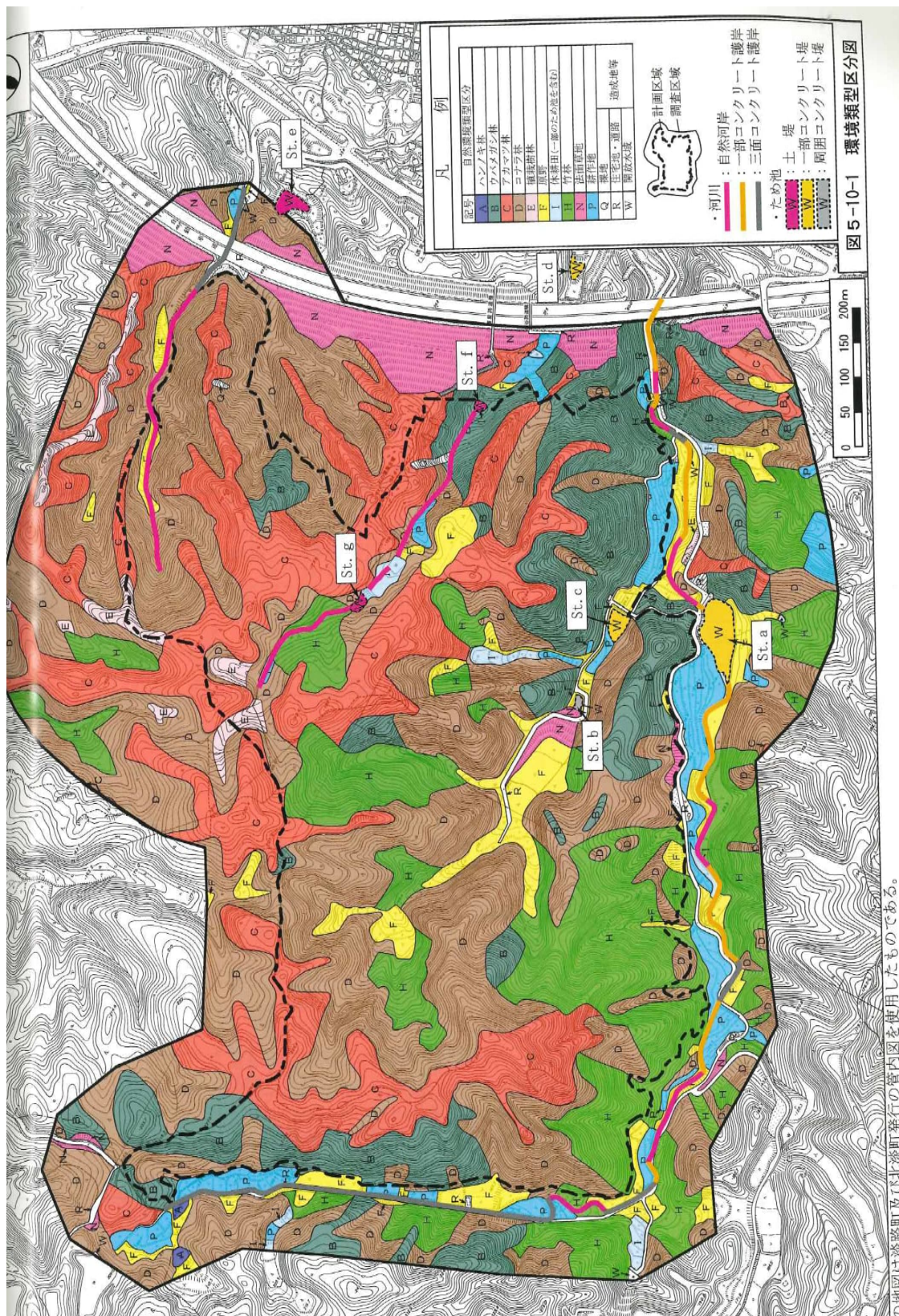
リノベーション方針図	7
------------------	---

3 管理水準書（資料集）

(1) 施設図	8
(2) 自然樹林（林地）管理図	9
(3) 高木管理図	10
(4) 芝地草地管理図	11
(5) 清掃区域図	12

1 環境影響評価書（平成14年）

（1）環境類型区分図



(2) は虫類調査ルート図

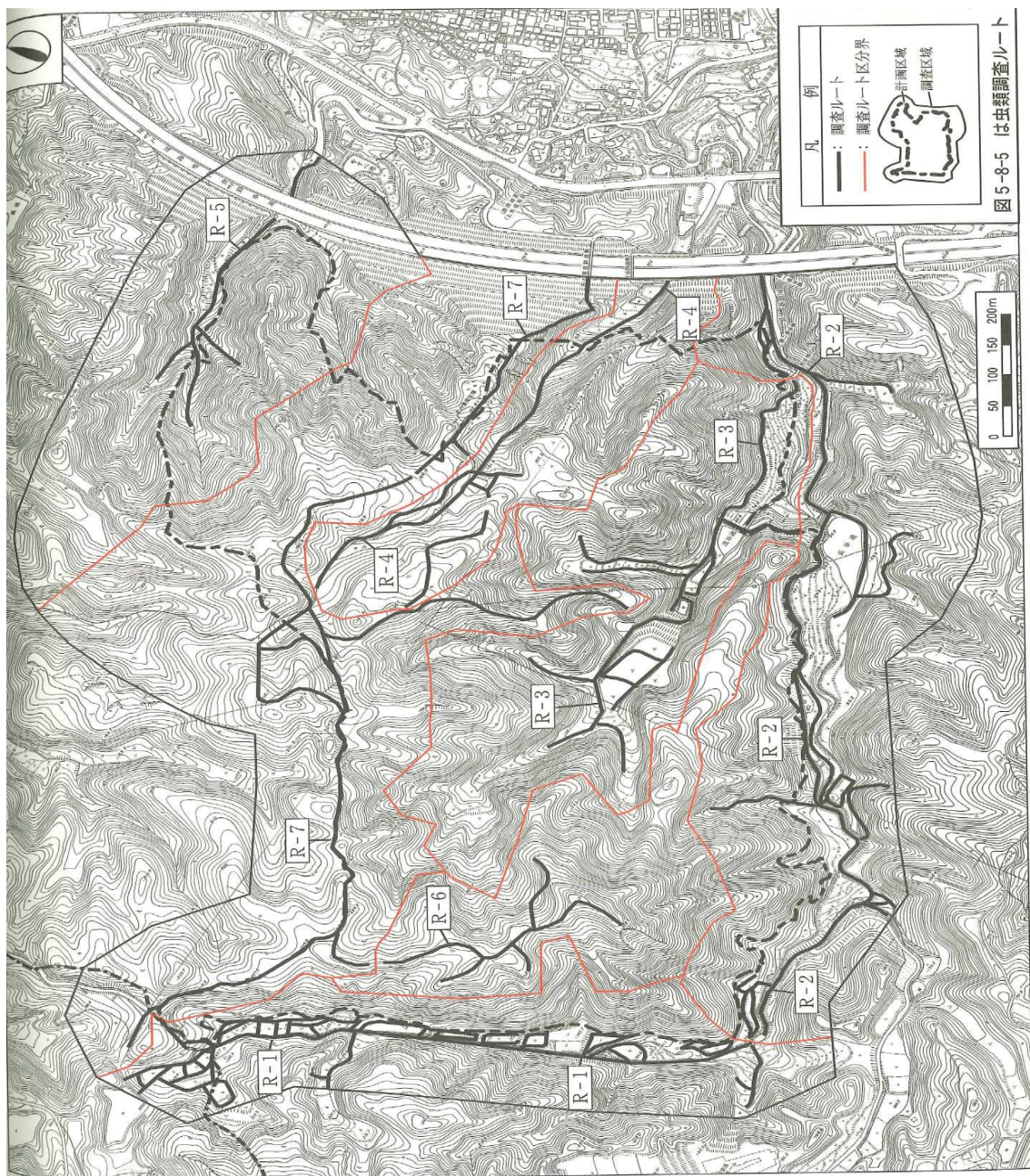


図 5-8-5 は虫類調査ルート

表 5-8-9 は虫類調査結果

目名	科名	種名	調査ルート別確認内容							聞き取* り調査
			谷筋ルート					尾根ルート		
			R-1 (長谷川上流)	R-2 (長谷川中流)	R-3 (茂谷池上下)	R-4 (片谷川上流)	R-5 (藤八川上流)	R-6 (南北尾根)	R-7 (東西尾根)	
カメ	イシガメ	クサガメ	○	—	○	—	—	—	—	○
		イシガメ	○	—	○	—	—	—	—	○
	トカゲ	トカゲ	—	○	○	○	○	—	—	○
		カナヘビ	○	○	○	○	○	—	○	○
		ヘビ	○	—	○	—	—	—	—	○
		アサギイシヤ	—	○	—	—	—	—	—	○
ヘビ	ヤマカガシ	○	—	—	—	—	—	—	○	
	クサリヘビ	マミシ	○	—	—	—	—	—	○	
	2目	5科	8種	2目4科6種	1目3科3種	2目4科5種	1目3科3種	1目2科2種	—	1目1科1種

〔備考〕 1. 分類は「日本産野生生物目録—脊椎動物編—」(環境庁編 1993年)に準拠した。
2. *聞き取り調査では、カメ類(クサガメ、イシガメ)及びトカゲ類(トカゲ、カナヘビ)の区別が明確でなかったため、それぞれカメ類、トカゲ類の1種とした。

(3) 両生類調査ルート図

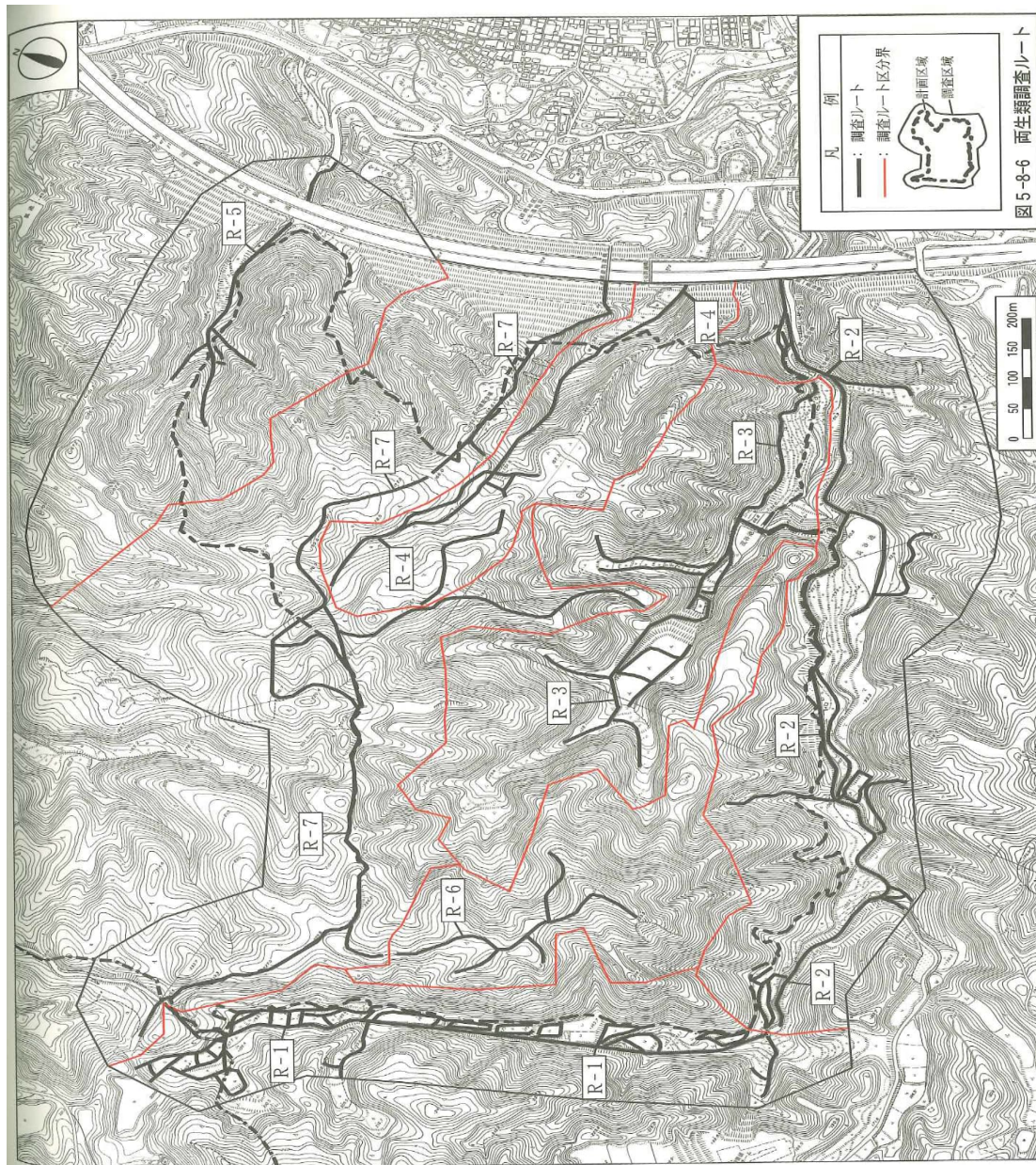


表 5-8-11 両生類調査結果

表 5-8-11 両生類調査結果

目名	科名	種名	調査ルート別確認内容							聞き取り調査
			谷筋ルート					尾根ルート		
			R-1 (長谷川上流)	R-2 (長谷川中流)	R-3 (茨池上下流)	R-4 (片谷川上流)	R-5 (藤八川上流)	R-6 (南北尾根)	R-7 (東西尾根)	
カエル	イモリ	イモリ	—	○	—	○	—	—	—	○
	ヒキガエル	ニホンヒキガエル	—	—	—	○	—	—	—	○
	アマガエル	アマガエル	○	○	○	○	○	—	○	○
	アマガエル	ニホンアマガエル	○	○	○	○	—	—	—	○
		トノサマガエル	○	—	○	—	—	—	—	○
		スズガエル	○	○	○	—	—	—	—	○
		ウシガエル	○	○	○	○	○	—	—	○
アゲガエル	シムレーダアゲガエル	○	—	—	—	—	—	—	—	
2目	5科	8種	1目3科6種	2目3科5種	1目2科5種	2目4科5種	1目2科2種	—	1目1科1種	2目4科6種

(備考) 分類は「日本産野生生物目録－脊椎動物編－」(環境庁編 1993 年) に準拠した。

(備考) 分類は「日本産野生動物目録—脊椎動物編—」(環境庁編 1993年)に準拠した。

表 5-8-13 調査ルート別の分類群別出現種数

[illegible]

(5) 水生小動物調査地点図

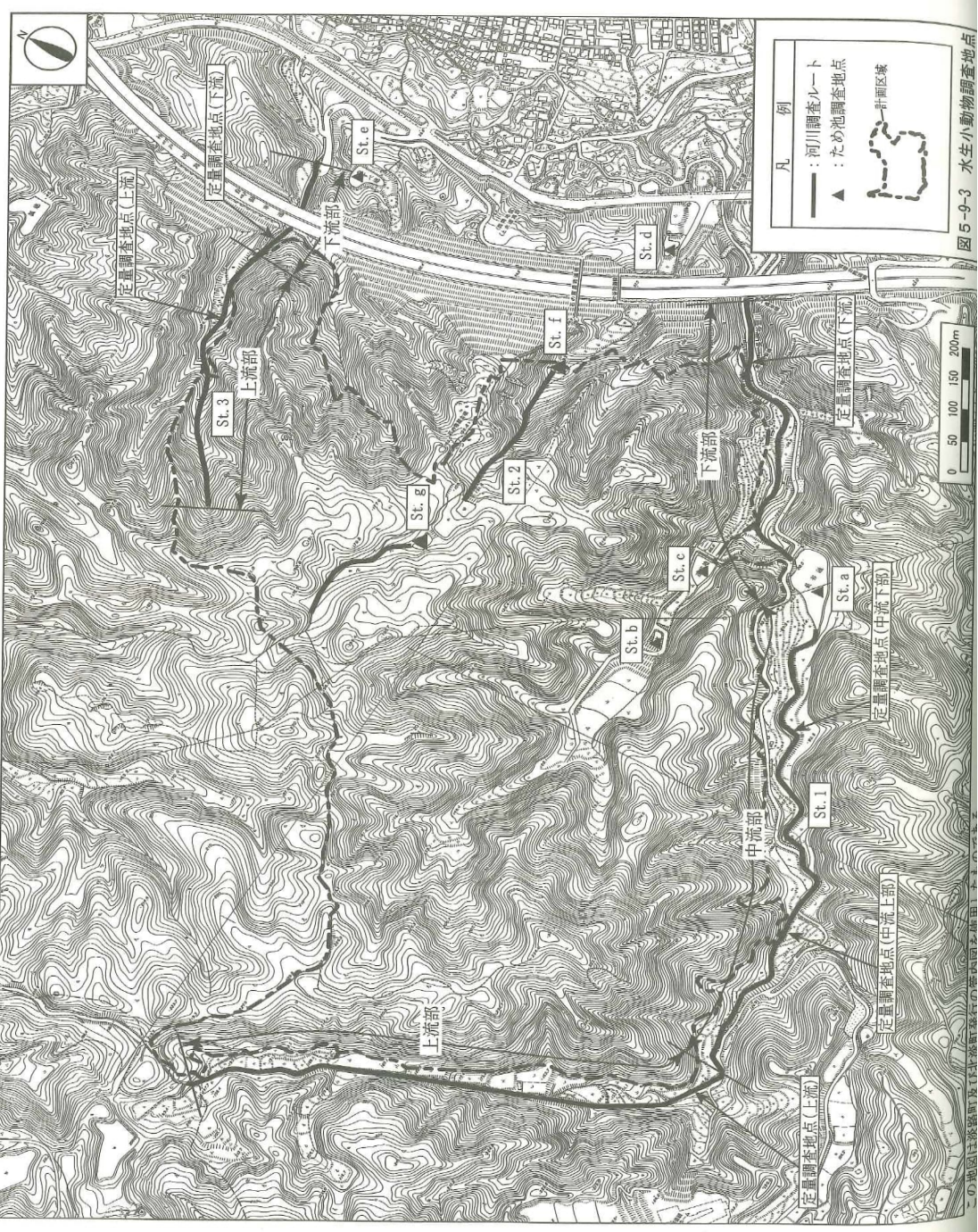
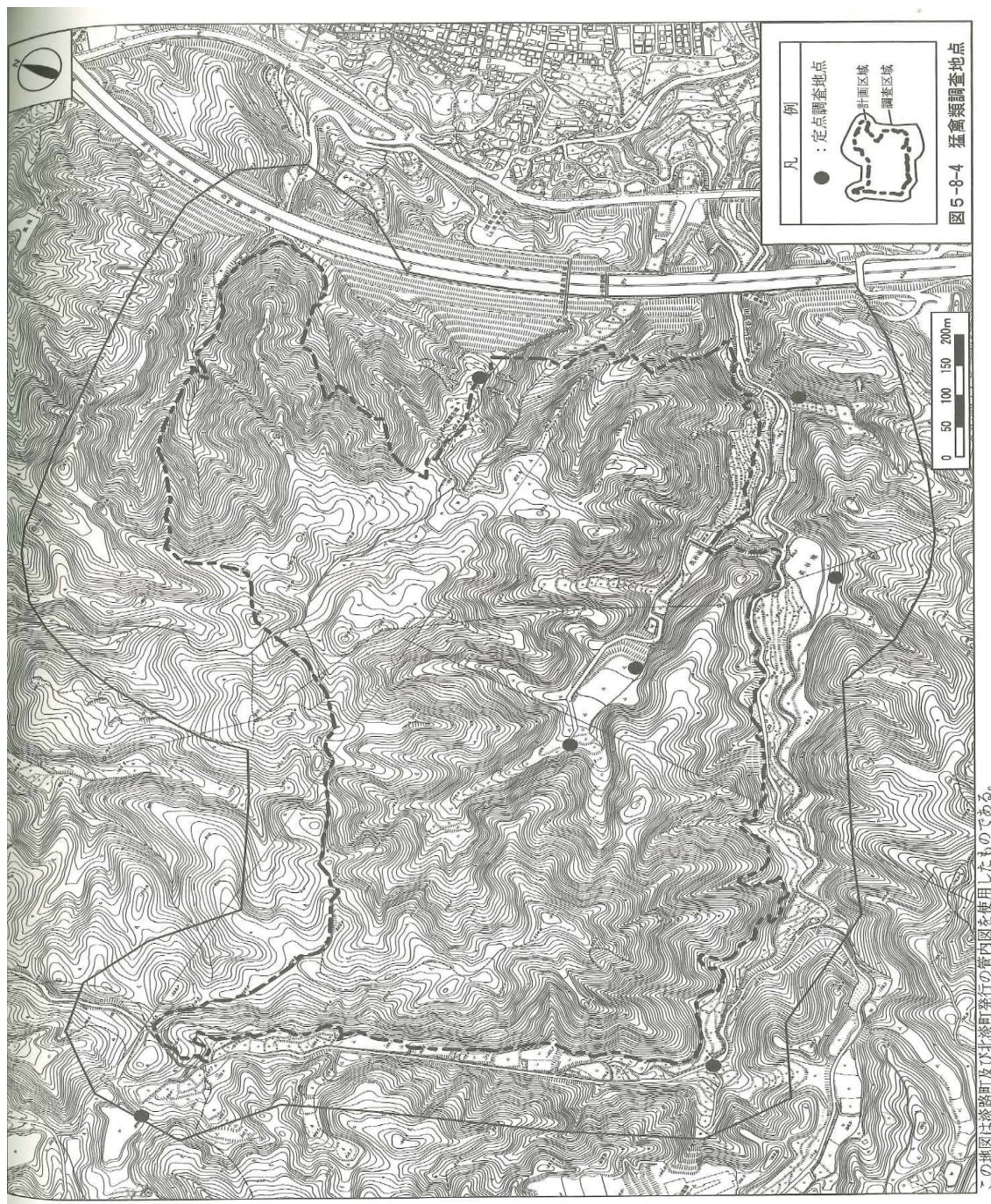


表 5-9-18 貴重な水生生物の確認状況

分類	種 名	分 布	生 態 等	確 認 状 況 等
昆虫類	コオイムシ	本州、四国、九州	カメムシ目コオイムシ科の水生昆虫。体長 17～20mm、黄褐色ないしは暗褐色で、ほぼ卵形の扁平なからだをしている。5～6月ごろ、雌は雄の背上に産卵する習性がある。雄は黄白色の卵を背負っており、水のなかでもよく目立つ。水田や池沼の静水にすむ。	夏季調査で確認されており、成虫5匹と2～3齢幼虫2匹を捕獲したほか、背中に卵を背負った雄成虫も目撃しており、確認場所でも繁殖しているものと考えられる。
貝 類	コシダカヒメモノアラガイ	日本全国	モノアラガイやヒメモノアラガイに比べると螺塔はやや高く、殻口は殻高の1/2くらいで前2種にくらべて小さく、殻もやや厚い。山間部には少なく、平野を流れる河川やクリークに多くみられる。ヒメモノアラガイと混生していることもある。また、しばしばクリークや人工池などのコンクリート壁などに付着していることもある。	長谷池の長谷川流入付近にあるコンクリートの護岸でかなり小さい1個体が採集された。

(6) 猛禽類調査地点図

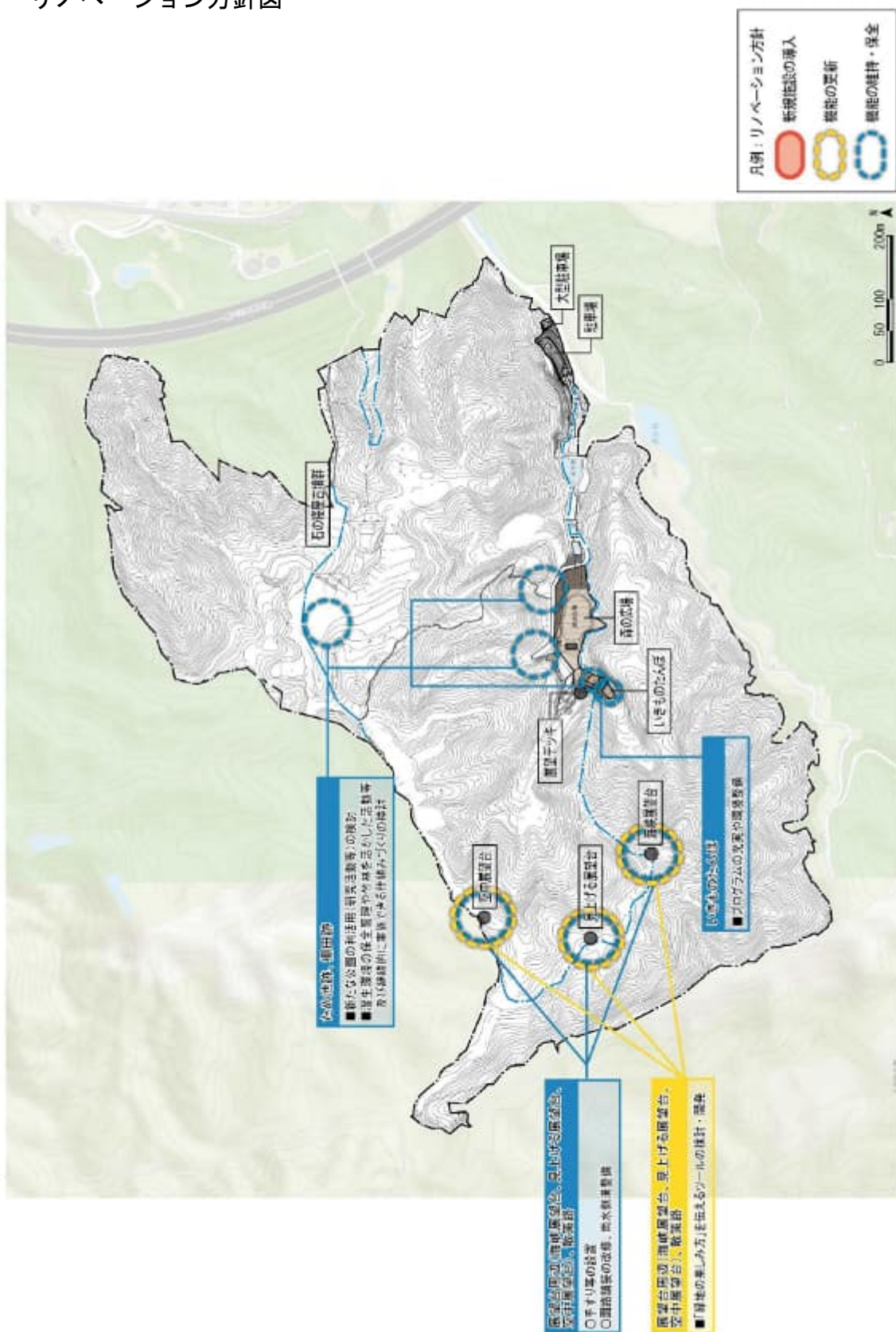


この地図は読路町及び北沢町発の管内図を使用したものである。

表 5-8-7 猛禽類調査結果

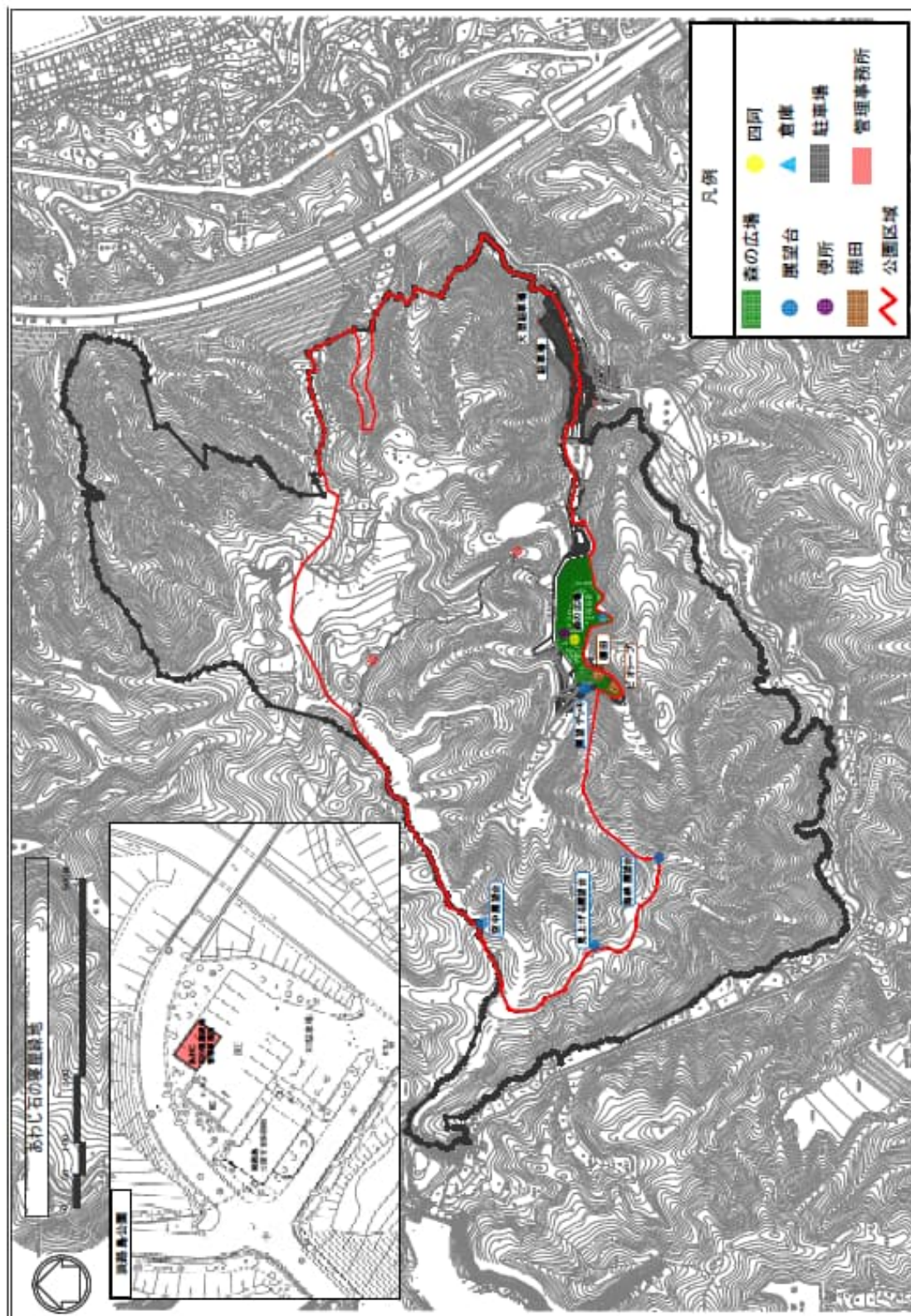
種 名	渡り区分	確認日 (出現回数)			繁殖行動 (ディスプレイ、給餌、餌運び)の有無 (回数)	備 考
		2 月	5 月	6 月		
ミサゴ	留鳥	7 (2)、8 (2)	29 (1)	21 (1)	×	探餌行動
ハチクマ	夏鳥	—	28 (7)、29 (7)	—	×	探餌行動
オオタカ	留鳥	6 (4)、7 (3)、8 (4)	—	—	○ (2)	ディスプレイ (平行飛行)
ツミ	留鳥	—	28 (2)、29 (3)	—	×	探餌行動
ハイタカ	冬鳥	6 (6)、7 (4)、8 (9)	—	—	×	探餌行動
ノスリ	冬鳥	6 (10)、7 (4)、8 (22)	—	—	×	探餌行動
サシバ	夏鳥	—	28 (58)、29 (35)、30 (23)	19 (9)、20 (28)、21 (57)	○ (35)	給餌、餌運び、警戒、ハンティング、探餌行動
ハヤブサ	留鳥	6 (4)、7 (16)、8 (1)	29 (1)	19 (1)	×	ハンティング、探餌行動

2 県立都市公園リノベーション計画 リノベーション方針図

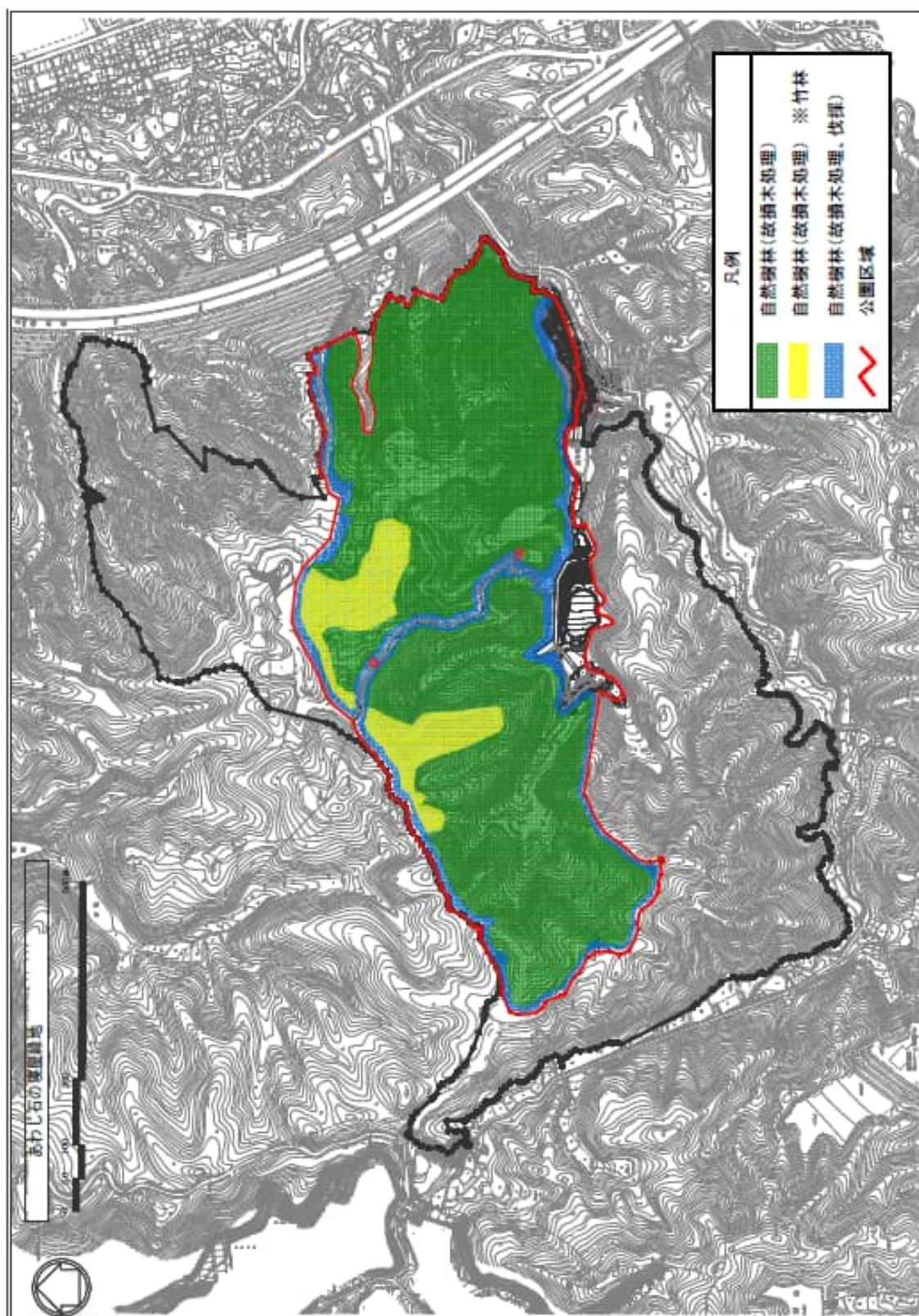


3 管理水準書（資料集）

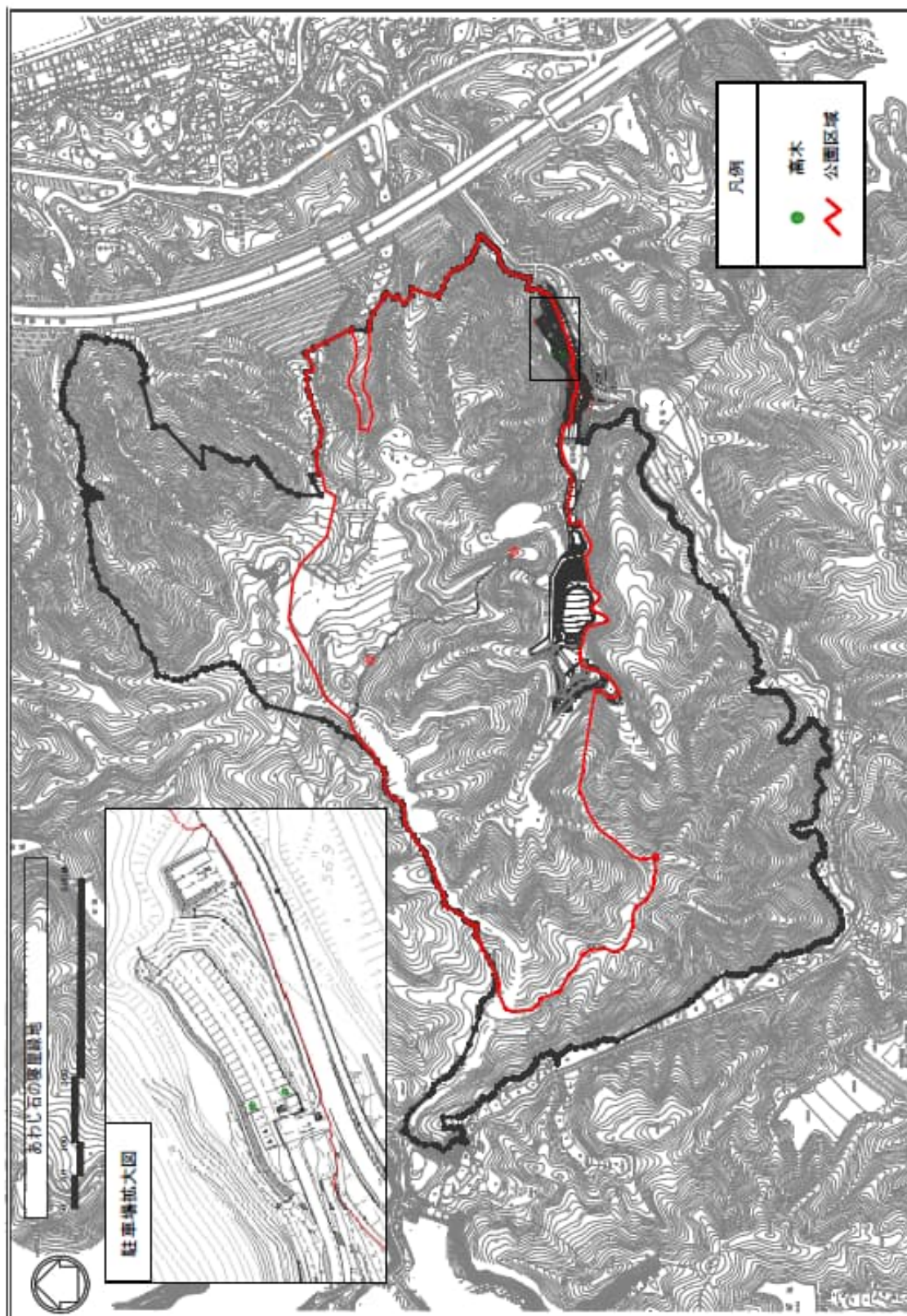
（１）施設図



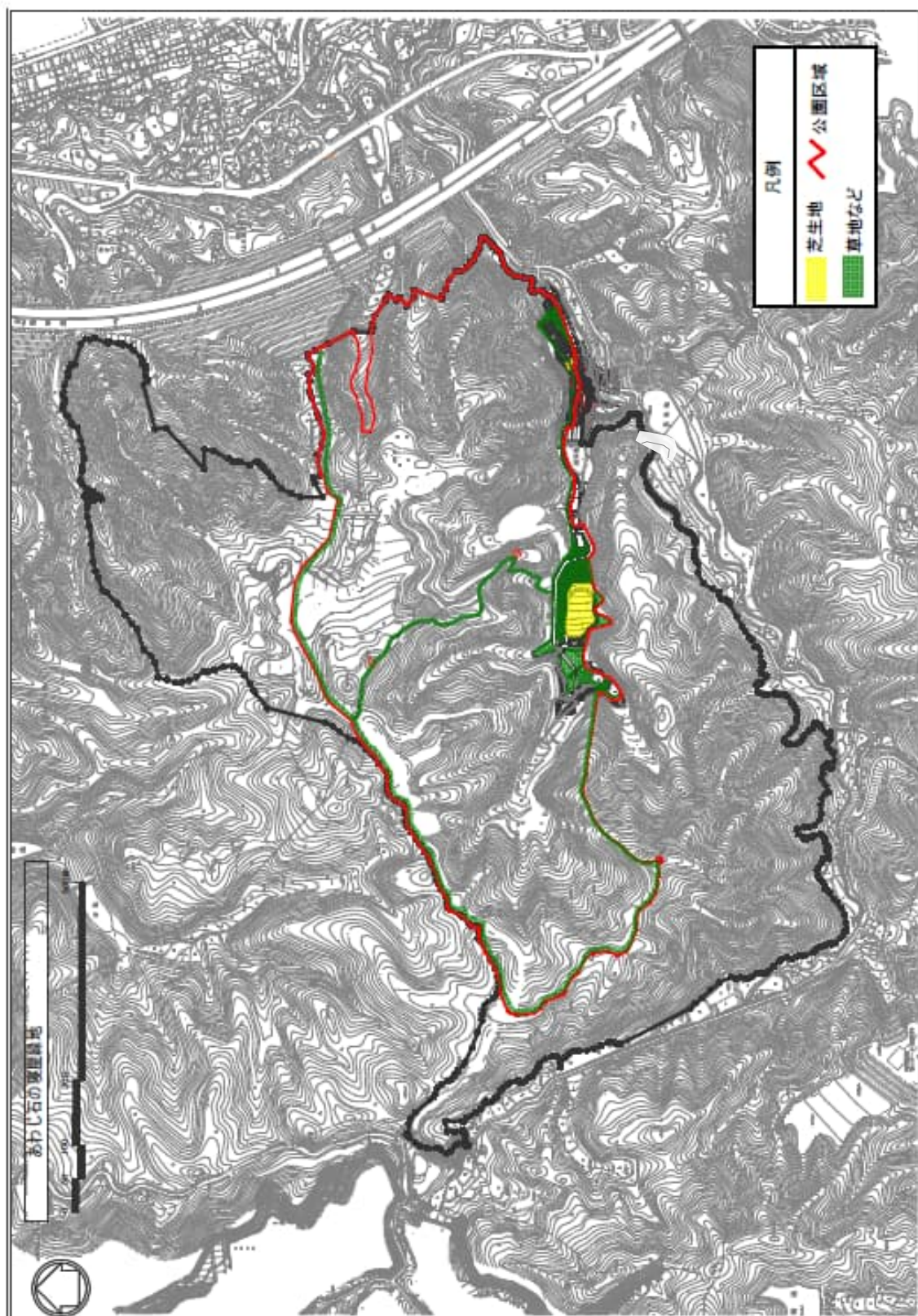
(2) 自然樹林（林地）管理図



(3) 高木管理図



(4) 芝地草地管理図



(5) 清掃区域図

